



仙台市水道局キャラクター

ウォーターくん

# 平成 28 年度事業報告

---

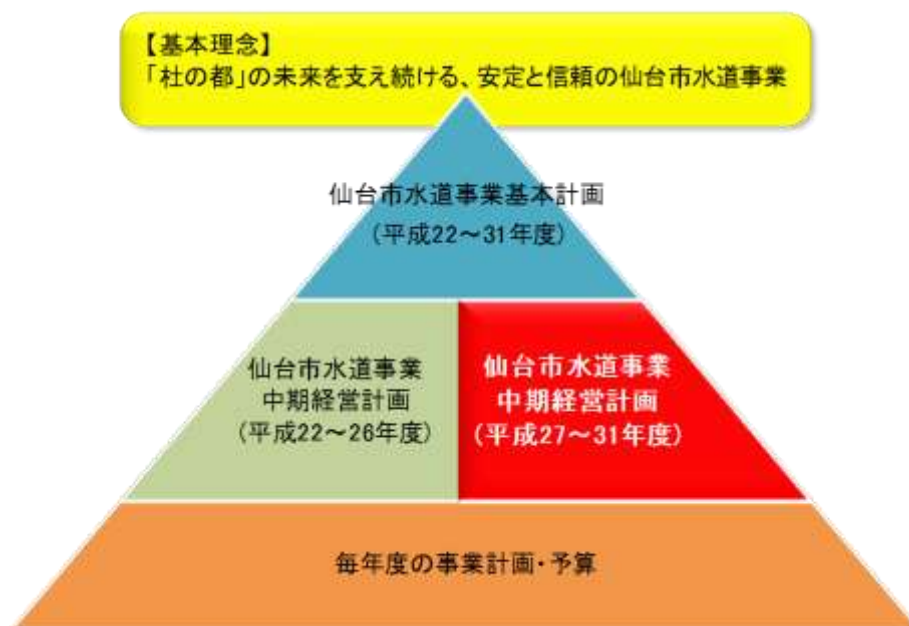
仙台市水道局

## 1. はじめに

- 仙台市水道局では、平成 22 年 3 月に策定した「仙台市水道事業基本計画（平成 22 年度～平成 31 年度）」（以下「基本計画」という。）及びその後半 5 年間の実施計画である「仙台市水道事業中期経営計画（平成 27 年度～平成 31 年度）」（以下「中期経営計画」という。）に基づき、各年度の事業に取り組んでいます。

このたび、平成 28 年度における事業の実績がまとまりましたので、お知らせいたします。

図 1 仙台市水道事業の計画体系



## 2. 決算の概況

- 本年度の水道事業は、「仙台市水道事業中期経営計画」（平成 27～31 年度）に基づき、計画に掲げる事業を着実に推進し、強くて安心な水道，エコで持続可能な水道づくりに取り組みながら，お客さまへの安全・安心で良質な水道水の安定供給に努めてまいりました。
- 事業実績につきましては，年間総配水量が 1 億 1,977 万 1 千立方メートル，前年度比 50 万 6 千立方メートル（0.4%）減，年間有収水量が 1 億 1,342 万 9 千立方メートル，前年度比 7 万 6 千立方メートル（0.1%）増となり，有収率は前年度より 0.5 ポイント向上して 94.7%となりました。
- 経営面につきましては，災害に強い施設・システムの整備，災害時対応力の強化，環境に配慮した事業の推進など，強靱性や環境先進性の向上に取り組むとともに，水道料金のクレジットカード決済や基本料金の日割り計算実施に向けた準備，アセットマネジメントの推進など，お客さまサービスの向上や経営基盤の強化にも努めました。
- 次に，建設改良事業につきましては，配水管整備事業で，基幹管路の新設工事や配水支管の更新工事などを行い，52 億 8 百万円を支出し，配水管延べ 37,229 メートルを布設しました。また，施設整備事業では，青葉山隧道改良工事，荒巻配水所更新工事，災害時給水栓設置工事などの災害対策関連事業を行ったほか，国見浄水場薬品注入設備更新工事，福岡取水場設備更新工事などを行い，53 億 9 千 7 百万円を支出しました。
- 財政状況につきましては，収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において，総収益 279 億 3 千万円に対し，総費用 259 億 4 千 1 百万円で，差引 19 億 8 千 9 百万円の純利益となりました。
- 以上が決算の概況でございますが，今後も計画的かつ効率的な事業運営による経営基盤の強化やサービスの向上に努め，安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて，お客さまと地域社会に一層信頼される水道事業を目指してまいります。

### 3. 事業実績

区 分	年 度	単 位	平成28年度 (E)	平成27年度 (F)	対前年度比較	
					増減(△減) (E-F)	比率 (E/F)%
計画給水区域内人口 (A)	人		1,056,783	1,056,418	365	100.0
給水人口 (B)	人		1,053,406	1,052,692	714	100.1
年間総配水量 (C)	m <sup>3</sup>		119,770,700	120,276,944	△ 506,244	99.6
( 仙 台 市 配 水 量 )	m <sup>3</sup>	( 115,629,126 )	( 116,054,488 )	( △ 425,362 )	( 99.6 )	
( 他 市 町 分 水 量 )	m <sup>3</sup>	( 4,141,574 )	( 4,222,456 )	( △ 80,882 )	( 98.1 )	
配水能力	m <sup>3</sup> /日		427,615	429,115	△ 1,500	99.7
一日平均配水量	m <sup>3</sup>		328,139	328,626	△ 487	99.9
一日最大配水量	m <sup>3</sup>		356,781	365,543	△ 8,762	97.6
使用給水栓数	栓		447,225	440,613	6,612	101.5
年間有効水量	m <sup>3</sup>		116,145,625	116,082,903	62,722	100.1
年間有収水量 (D)	m <sup>3</sup>		113,429,031	113,353,413	75,618	100.1
配水管延長	km		3,442	3,430	12	100.3
職 員 数 ( 管 理 者 除 く )	人		407	405	2	100.5
普及率 (B/A)	%		99.7	99.6	0.1	-
有収率 (D/C)	%		94.7	94.2	0.5	-

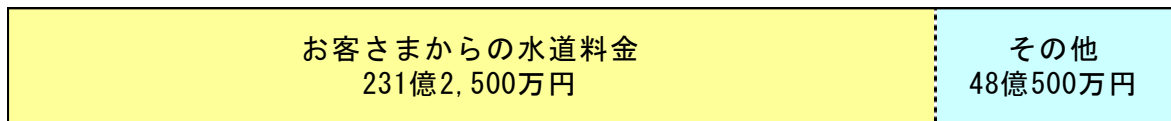
## 4. 財政状況

水道料金収入などの収益的収入が 279 億 3,000 万円となる一方で、人件費、物件費などの収益的支出が 259 億 4,100 万円となり、その結果、19 億 8,900 万円の純利益（黒字）となりました。この純利益については、全額を減債積立金（借入金の返済に充てるための積立金）として積み立てました。

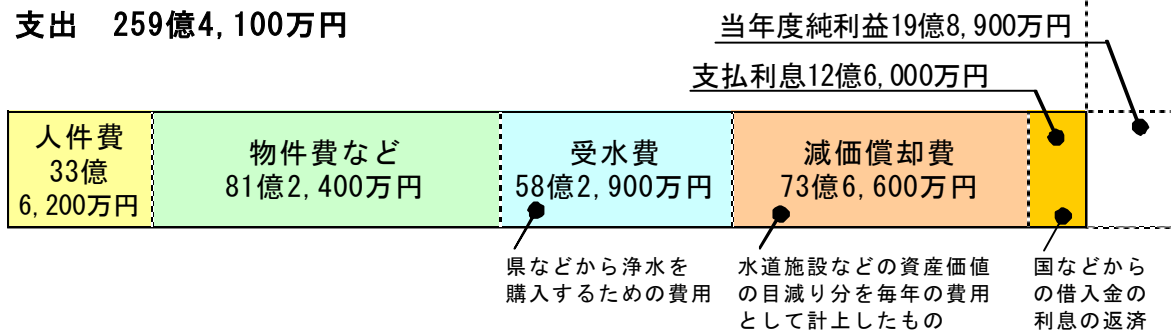
### (1) 収益的収支

■ 水道水をつくり、ご家庭にお届けするための財源と経費です。

**収入 279 億 3,000 万円**



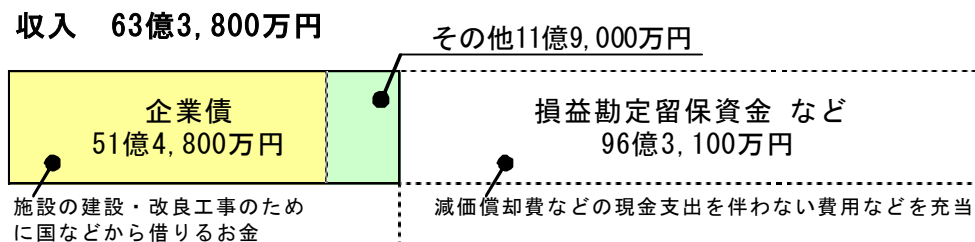
**支出 259 億 4,100 万円**



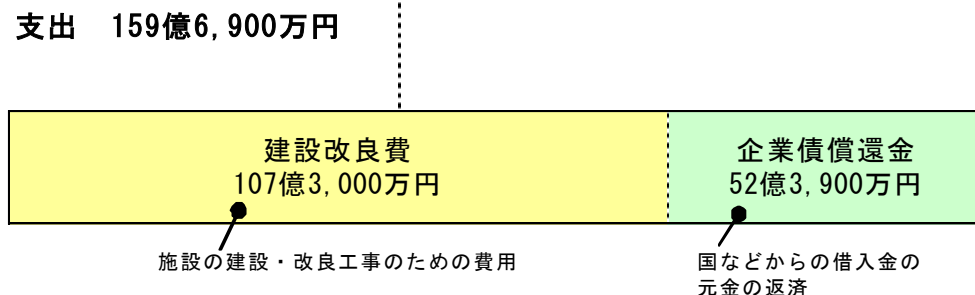
### (2) 資本的収支

■ 水道施設を建設・改良するために必要な財源と経費です。

**収入 63 億 3,800 万円**



**支出 159 億 6,900 万円**



(3) 前年度との比較(収益的収支)

(単位：千円)

科目 \ 区分	平成 28 年度	平成 27 年度	増減額(△減)	比率(%)
水道事業収益	27,930,157	27,671,060	259,097	100.9
営業収益	24,701,116	24,692,927	8,189	100.0
給水収益	23,698,494	23,668,171	30,323	100.1
受託工事収益	48,172	95,597	△ 47,425	50.4
その他営業収益	954,450	929,159	25,291	102.7
営業外収益	3,120,250	2,974,141	146,109	104.9
受取利息	3,033	14,690	△ 11,657	20.6
不動産賃貸料	29,359	36,380	△ 7,021	80.7
水道加入金	1,215,799	1,073,293	142,506	113.3
他会計補助金	350,885	335,550	15,335	104.6
国庫補助金	0	29,858	△ 29,858	皆減
長期前受金戻入	1,402,390	1,403,099	△ 709	99.9
雑収益	118,784	81,271	37,513	146.2
特別利益	108,791	3,992	104,799	2725.2
固定資産売却益	0	480	△ 480	皆減
過年度損益修正益	5,545	3,512	2,033	157.9
その他特別利益	103,246	0	103,246	皆増
水道事業費用	25,941,254	24,637,798	1,303,456	105.3
営業費用	23,498,939	23,157,845	341,094	101.5
人件費	3,362,347	3,007,809	354,538	111.8
物品費	306,314	366,406	△ 60,092	83.6
経費	5,884,178	5,920,736	△ 36,558	99.4
受水費	5,829,050	5,867,568	△ 38,518	99.3
減価償却費	7,365,821	7,320,155	45,666	100.6
資産減耗費	751,229	675,171	76,058	111.3
営業外費用	1,334,922	1,437,399	△ 102,477	92.9
支払利息	1,259,929	1,366,803	△ 106,874	92.2
繰延資産償却	44,556	68,935	△ 24,379	64.6
雑支出	30,437	1,661	28,776	1,832.5
特別損失	1,107,393	42,554	1,064,839	2602.3
過年度損益修正損	23,796	33,682	△ 9,886	70.6
その他特別損失	1,083,597	0	1,083,597	皆増
固定資産売却損	0	8,872	△ 8,872	皆減
当年度純損益	1,988,903	3,033,262	△ 1,044,359	65.6

(注) 消費税及び地方消費税抜きの額である。

(4) 前年度との比較(資本的収支)

(単位：千円)

科目	区分	平成 28 年度	平成 27 年度	増減額(△減)	比率(%)
水道事業資本的収入		6,337,909	5,559,467	778,442	114.0
企業債		5,148,000	4,135,000	1,013,000	124.5
固定資産売却代金		0	16,221	△ 16,221	皆減
出資金		644,521	664,784	△ 20,263	97.0
国庫補助金		121,378	216,382	△ 95,004	56.1
開発負担金		317,440	337,080	△ 19,640	94.2
負担金		90,758	180,950	△ 90,192	50.2
その他資本的収入		15,812	9,050	6,762	174.7
水道事業資本的支出		15,968,800	13,731,152	2,237,648	116.3
建設改良費		10,730,416	8,894,429	1,835,987	120.6
配水管整備事業費		5,208,035	4,590,569	617,466	113.5
施設整備事業費		5,397,036	4,037,273	1,359,763	133.7
受託等工事費		125,345	266,587	△ 141,242	47.0
企業債償還金		5,238,384	4,836,723	401,661	108.3
差引		△9,630,891	△8,171,685	△1,459,206	117.9

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。



## 5. 主な実施事業

- 平成 28 年度に実施した主な事業を「水道事業中期経営計画」における 2 つの『目指すべき将来像』に沿ってご紹介します。

※【 】内の金額は平成 28 年度の事業費です。

### 1 強くて安心な水道

#### (1) 災害に強い施設・システムの整備

- 管路の耐震化【約 47 億 6, 100 万円】  
約 27.8km の老朽管や、災害医療の拠点となる病院への管路 1 ヶ所を耐震性に優れた水道管へ更新しました。
- 浄・配水施設の耐震化【約 18 億 9, 300 万円】  
茂庭浄水場配水池の耐震補強工事等を実施しました。
- 配水ブロックの再編【約 8, 400 万円】  
適正な水量と水圧の管理、災害時の影響区域の縮小化などを図るため、土手内・太白配水ブロックを再編しました。



管路の更新工事

#### (2) 災害対応力の強化

- 災害時給水栓の設置【約 3, 900 万円※】※給水車用注水補給設備の整備費用を含む  
大規模災害時などに効果的な応急給水ができるよう、市立小学校 14 校に災害時給水栓を設置しました。
- 給水車用注水補給設備の整備  
水道局本庁舎への設置工事に着手しました。
- 非常用自家発電設備の更新等【約 2 億 1, 100 万円】  
国見浄水場、茂庭浄水場の非常用自家発電設備の燃料タンク増設・更新等を実施しました。



給水車用注水補給設備

#### (3) 水質管理の徹底

- 高度浄水処理施設の導入【約 2,400 万円】  
福岡浄水場の粉末活性炭注入設備設置工事に着手しました。



## 2 エコで持続可能な水道

### (1) 環境に配慮した事業の推進

#### ■ 太陽光発電設備の設置【約 1,500 万円】

福岡浄水場の太陽光発電設備の稼動を開始しました。また、水道局本庁舎の太陽光発電設備の設置工事に着手しました。



太陽光発電設備

#### ■ 省エネルギー型機器への切り替え【約 8 億 3,600 万円】※老朽更新費用を含む

福岡浄水場の受変電設備更新工事に着手しました。また、卸町庁舎及び国見浄水場への LED 照明設備導入や、水道局本庁舎エレベーター全 3 台の省エネ化が完了しました。

#### ■ 次世代自動車等の導入【約 1,100 万円】

公用車の更新に合わせ、7 台の次世代自動車等を導入しました。

### (2) お客さま本位の事業の推進

#### ■ 窓口・電話対応に関するサービスの充実

お客さま対応の迅速化を図るため、コールセンターシステムと業務電算システムを統合しました。

#### ■ 水道記念館の改善等

「水道のしくみ」ゾーンの展示リニューアル等を実施しました。



水道記念館2階「水道のしくみ」ゾーン

### (3) 経営マネジメントの推進

#### ■ アセットマネジメントの推進

施設・設備情報の管理項目を決定し、台帳データベースシステムの構築を行いました。また、長期的な施設整備計画策定の検討に着手するとともに、管路情報の精度向上・充実のため、既設管路の管体調査の手法を検討し、平成 29 年度からの実施を決定しました。